

06

# 仙台南 沿岸

仙台・松島  
エリア

## いちご狩り

シーズン中は多くの農園が  
観光客で大賑わい。カフェ併  
設の農園も要チェック。

P.098

## かわまちてらす 閑上

飲食店や水産加工品店が並  
ぶ。海鮮丼やいちごスイーツ  
など、食べ歩きを楽しもう。

P.097

## 千年希望の丘

東日本大震災からの復興を象  
徴する公園。14の丘とそれを  
つなぐ園路が整備されている。

P.098



レジャー・ショッピング **かわまちてらす 関上** 名取市  
MAP P.48



**絶品グルメを水辺のテラスで堪能**  
 関上の新たな交流拠点としてオープンした水辺の商業施設。鮮魚や飲食店、カフェなどが軒を連ねる。名取川河口の堤防に建ち、近くに海、遠くに蔵王連峰が見える最高のロケーションで、地元食材を使った食事や買い物を楽しめる。  
 各施設により異なる 117台 170P参照  
 022-399-6848

レジャー・ショッピング **サッポロビール仙台ビール園** 名取市  
MAP P.48



**ジンギスカンと生ビールを味わおう**  
 JR名取駅から徒歩2分にある赤い屋根の建物が目印。サッポロビール仙台工場の新鮮な生ビールと自慢のジンギスカンを、飲み放題、食べ放題で楽しめる。  
 11時30分～22時 無休 50台 170P参照  
 022-384-9301

レジャー・ショッピング **ゆりあげ港朝市** 名取市  
MAP P.48



**活気あふれる海と里の市**  
 威勢のいい掛け声が飛び交う中、地元の新鮮な魚介類をはじめ、野菜や果物が所狭しと並ぶ名物朝市。購入した魚介類は、炉端焼きコーナーで炭火焼きで食べられる。東北のローカルフードを食べ歩いたり、人気イベント競り市へ参加するのも楽しい。  
 日曜、祝日の6～13時 500台 170P参照  
 022-395-7211 (ゆりあげ港朝市協同組合)

レジャー・ショッピング **仙台空港** 名取市・岩沼市  
MAP P.48



**空港や飛行機のおもしろさに触れる**  
**●屋上展望デッキ「スマイル テラス」**  
 地上23mの高さから、迫力ある飛行機の離着陸の様子や、仙台市街の高層ビル群、蔵王連峰、太平洋まで、360度の景色が満喫できる。季節ごとに行われるイベントも合わせて楽しむ。  
 6時45分～20時 無休 170P参照  
 022-382-0080 (仙台空港インフォメーション)

レジャー・ショッピング **メイプル館** 名取市  
MAP P.48



**名取の名物グルメを楽しもう**  
 ゆりあげ港朝市に隣接。カナダ政府の支援で建てられた施設で、名取の名物を使ったメニューやみやげ品の買い物が平日でも楽しめる。震災展示コーナーも常設。  
 10～16時 (日曜、祝日は6～13時) 木曜休  
 170P参照 022-395-7211

歴史・文化 **名取熊野三社** 名取市



**東北の熊野信仰の中心**  
 平安時代後期に、熊野本宮大社、熊野速玉大社、熊野那智大社を分霊し、名取熊野三社が形成された。三社を合祀せず、紀伊熊野三山同様の勧請をしているのは全国でも名取だけである。  
 ★境内自由 20台 022-382-6526 (名取市観光物産協会)

レジャー・ショッピング **みちのく潮風トレイル 名取トレイルセンター** 名取市  
MAP P.48



**トレイルの魅力の名取から発信**  
 青森県八戸市から福島県相馬市までの、全長1000キロに及ぶロングトレイル「みちのく潮風トレイル」の拠点施設としてオープン。ハイカーが旅を快適に楽しむための情報やサービスを提供するとともに、自然に親しむイベントやクラブ体験も開催している。  
 9～17時 (12～3月は～16時) 火曜休、1月1日 無料  
 58台 170P参照 022-398-6181

歴史・文化 **竹駒神社** 岩沼市  
MAP P.48



**年間160万人もの参詣者でにぎわう**  
 日本三稲荷である竹駒神社は、842年(承和9)に創建された。衣・食・住の神々を祀り、多くの参詣者が訪れる。江戸時代に建てられた二層の隨身門、向唐門などがある。  
 6～17時 (4～9月は～18時) 200台 170P参照 0223-22-2101

レジャー・ショッピング **名取市サイクルスポーツセンター** 名取市  
MAP P.48



**関上エリアに新たなスポットが誕生!**  
 1周4kmのコースで気軽にサイクリングが楽しめる。施設内には、おもしろ自転車広場やスケートボード場、フットサルコートも。天然温泉を備えた宿泊施設には自転車を持ち込み泊まれる客室もある。温泉は日帰り利用可。  
 170P参照 022-384-2111 (名取市商工観光課)

歴史・文化 **金蛇水神社** 岩沼市  
MAP P.48



**春にはボタンの花が咲きほころ**  
 ご神体に「金蛇」を祀り、金運向上や商売繁盛の御利益があるといわれる。「水清き花の社」と呼ばれ、樹齢300を誇る「九竜の藤」と名付けられた見事な藤棚が楽しめるほか、2020年5月の花まつりまでには参拝者休憩所が新設。ボタン園が庭園化される。  
 ★境内自由 155台 170P参照 0223-22-2672

歴史・文化 **名取市震災復興伝承館** 名取市  
MAP P.48



**震災の記憶・教訓を後世に伝える**  
 2020年4月、東日本大震災から現地再建を果たした関上の地に震災伝承と交流の拠点施設が開館。名取市の復興の歩みを伝えるとともに、自然災害に対する防災意識醸成に向けた企画や展示を行う。  
 9時30分～16時30分 (12～3月は10～16時)  
 火曜休、12月29日～1月3日 10台 170P参照  
 022-384-2111 (名取市商工観光課)

レジャー・ショッピング **いちご狩り**

巨理町・山元町  
MAP P.48

いちごが30分間食べ放題!



いちごの産地の巨理・山元町では、いちご狩りが体験できる。巨理町では、JAみやぎ巨理吉田観光いちご園 ☎0223-34-9471。団体要予約、いちごランドごうちゃん園 ☎0223-34-4571。団体要予約、山元町では、農産物直売所「やまと夢いちごの郷」☎0223-38-1888。団体要予約で町内の農園の紹介と受付が可能。☎170P参照

歴史・文化 **千年希望の丘**

岩沼市  
MAP P.48



復興の取り組み

岩沼市では東日本大震災の津波被害の甚大さや、被災した人々の想いを後世に伝えるために、防潮堤や避難場所などとして活用できる「千年希望の丘」を整備。十数か所の丘(高さ11m程)と、それらをつなぐ園路(高さ3m程)が築かれ、丘に登れば太平洋が一望できる。  
☎80台 ☎170P参照 ☎0223-23-8577(千年希望の丘交流センター)

レジャー・ショッピング **グリーンピア岩沼**

岩沼市  
MAP P.48



1日中楽しめる複合施設

自然に囲まれた敷地内に、13本の魅力的な自然散策路、体育館やテニスコート、温水プール、フットサル場などのスポーツ施設がある。大自然の中で体を動かしたあとは、日帰り入浴施設でゆっくりできる。宿泊も可(ホテル、ロッジ)。  
☎営業時間は施設による ☎300台 ☎170P参照 ☎0223-25-5122

食べる **和風レストラン田園** 巨理町・山元町

はらこめし、ほっきめし

厳選された旬の素材の持ち味を生かしたはらこめし(9~12月)や、ほっきめし(12~5月)など、四季折々の郷土料理が味わえる。はらこめしとほっきめしは、ふるさと巨理の味を30年以上守り続けている逸品だ。他にも気軽に味わう定食から、本格的な寿司会席まで、豊富なメニューが揃い、休日には行列が出るほどの人気ぶりだ。



DATA  
(巨理店) ☎10時30分~20時30分 ☎水曜休(木曜不定休あり) ☎60台 ☎仙台東部道路巨理ICより車で10分 ☎0223-34-8760  
(山元店) ☎10時30分~20時30分 ☎火曜休(月曜不定休あり) ☎70台 ☎常磐自動車道山元ICより車で1分 ☎0223-37-0334

自然 **鳥の海**

巨理町  
MAP P.48



マリンスポーツも絶景も楽しめる!

淡水と海水が混ざった汽水湖で波が穏やかなため、カヌーやカヤックのほか、モーターパラグライダーやSUPなどのマリンスポーツが楽しめる。また、雄大な蔵王連峰や冬の満天の星空など美しい自然の絶景が望めるところも魅力の一つ。  
☎170P参照 ☎0223-34-0513(巨理町観光協会)

温泉 **わたり温泉 鳥の海**

巨理町  
MAP P.48



絶景が望める海辺の天然温泉

最上階に設けた入替制の展望風呂からは、東に太平洋、西に蔵王連峰を一望。レストランでは四季折々の旬の名物料理が楽しめる。2018年4月のリニューアルオープンに合わせて再開した宿泊もおすすめ。  
☎日帰り入浴10~20時(最終受付19時30分) ☎無休  
☎大人700円、小人250円 ☎100台 ☎170P参照 ☎0223-35-2744

レジャー・ショッピング **巨理町荒浜にぎわい回廊商店街**

巨理町  
MAP P.48



巨理のにぎわいを創出

震災で被災した商業店舗が集まったアーケード付きの商店街で、飲食店や海産物の販売店、サーフショップなどがある。毎月第1・3日曜日には、地元荒浜で水揚げされた海産物の販売イベントが開かれ、海の幸が堪能できる。  
☎80台 ☎170P参照 ☎0223-36-9664(リアルサーフ)

レジャー・ショッピング **鳥の海ふれあい市場**

巨理町  
MAP P.48



巨理町の地場産品が揃う

荒浜漁港の向かい側にあり、荒浜で水揚げされた新鮮な魚介類、地物野菜、特産品などを販売している。秋には郷土料理の「はらこめし」、冬には「ほっきめし」を販売。オリジナルのブレンドソフトクリームや、荒浜産の焼きガレイなどが人気。  
☎9~18時(11~3月は~17時) ☎第3木曜休 ☎50台 ☎170P参照 ☎0223-35-2228

遊ぶ **やまと夢いちごの郷** 山元町

いちご狩りの受付・農園紹介も行う直売所

いちごやりんご、ホッキ貝の産地として有名な山元町。直売所では、旬の採れたて野菜や果物、山元ブランド認証品を中心とする加工品、磯浜で水揚げされた新鮮な魚介類などを販売している。りんごは9~3月、いちごは11月下旬~6月上旬、ほっきめしは12月下旬~3月に店頭並び、山元町の3大特産品を買い求めることができる。

また、町内名所の案内のほか、12~6月には町内農園でのいちご狩りの受付や農園紹介を行っているのも魅力。真っ赤に実った摘みたてのいちごが味わえる。



DATA  
☎9時30分~17時(6~10月は10~17時30分) ☎年末年始 ☎普通車約140台、大型車約3台 ☎JR坂元駅下車、徒歩1分。常磐自動車道山元南SICから車で5分 ☎0223-38-1888

歴史・文化 深山・鎮魂の鐘

山元町  
MAP P.48



被災地を一望できる地に建つ鐘

2015年、山元町深山の山頂に、東日本大震災を語り継ぐ鎮魂の鐘が完成した。口径40cm、重さ65kgで荘厳な音が響く。山元町の少年の森から1時間弱で登ることができる。

☎170P参照 ☎0223-37-3364(NPO法人山元・あしたの響き)

歴史・文化 (仮)山元町震災遺構 中浜小学校

山元町  
MAP P.48



山元町の震災遺構が一般公開に

東日本大震災の遺構として保存する旧中浜小学校。校舎内の見学ができるよう整備を進めている。令和2年3月上旬から7月中旬までに校舎外周を、令和2年7月中旬から校舎内および敷地内全面の一般公開を開始する予定。

☎170P参照 ☎0223-36-8948(山元町教育委員会生涯学習課)



terroir  
東北・美酒と食のテロワージュ  
marriage

東北の、未知のおいしさに出会う旅。 COLUMN 「東北・美酒と食のテロワージュ」

東北・美酒と食のテロワージュ

テロワール × マリアージュ  
terroir marriage

東北各地の美酒と食、そして、それらをはぐくむテロワールを感じる旅にでませんか。

『テロワージュ』とは、フランス語で「気候風土と人の営み」を表す「テロワール(terroir)」と「食とお酒のペアリング」、「結婚」を表す「マリアージュ(mariage)」を組み合わせた造語です。「東北・美酒と食のテロワージュ」では、作り手との交流やその土地でしか感じられない音や香り、味わい、温もりで心まで満たしてくれる特別な旅を紹介しています。東北の美酒と食のテロワージュを体感しに各地を巡り、東北の未知のおいしさに出会う旅に出てみませんか？



詳しくは WEBへ



☎022-214-8482(仙台市文化観光局東北連携推進室)

東北の食のルーツに出会う「DELICIOUS TOHOKU」。 COLUMN 海の幸から山の幸まで東北には美味しい食べ物がいっぱい。

東北の食のルーツに出会う



「DELICIOUS TOHOKU」は、仙台市やその近郊で、東北の食文化のルーツに触れて、味わい、知ることを通じて、東北の素晴らしさを体感できるスポットです。フードコーディネーターや地元情報誌のライター、百貨店の物販担当者など、食のプロフェッショナルから成る認定委員会で選出し、公式ホームページやSNSで情報を公開しています。海、山の資源に恵まれる東北は美味しい食の宝庫です。「DELICIOUS TOHOKU」を通して東北の魅力を感じ、そのルーツとなる地域にもぜひ足を運んでみてください。



詳しくは WEBへ



☎022-214-8482(仙台市文化観光局東北連携推進室)

※「DELICIOUS TOHOKU」ロゴについて  
花のモチーフは、東北に咲き誇る多彩な食を表現しており、丸い花びらは東北6県と食器をイメージしています。その中心にある「人」の文字は、野菜や肉、酒をつくる人、その食材を使って料理する人、その魅力を伝える人を表しています。箸のように見える、花のモチーフの下に配置された2本の棒は、食や人に興味を持った方々がそのルーツをたどる道をイメージしています。

